

令和5年4月4日

原子力規制委員会原子力規制庁

長官官房放射線防護企画課保障措置室 御中

住所：神奈川県横浜市磯子区新杉田町8

名称：東芝マテリアル株式会社

令和4年12月21日実施の立入検査における指摘事項に対する改善計画の概要について

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第68条第1項及び第4項の規定に基づき、令和4年12月21日の立入検査における指摘事項に対する改善計画（一部推進中を含む）について、以下のとおりご報告いたします。

1. 立入検査における指摘事項について

令和4年12月21日、原子力規制庁様立入検査における指摘事項は、以下の7項目。

- ①計量管理報告の社内手続きの改善を行うこと。
- ②計量管理に関するコンプライアンスの意識を徹底すること。
- ③棚卸、受払の情報を社内で情報共有し、計量管理報告の抜け漏れがないようにすること。
- ④チェックシートや要領書などの整備、担当窓口の見直しなどを行うこと。
- ⑤ソースデータのフォーマットを見直すこと（バッチ名、アイテム数、物質記述コード、Th量を記載し、GLとソースデータをできるだけ1:1で対応させること）。
- ⑥IDをテプラなどで容器表面に貼り付けること。
- ⑦今年のAP申告（サイト内建物報告）にて、水素回収用フィルタの建屋（#81）を報告すること。

2. 改善計画について

別紙1に改善計画の実施スケジュール概要（一部推進中を含む）を示します。

① 計量管理報告の社内手続きの改善

当社内における計量報告の社内手続きの承認ルート見直しを行いました。改善前は、製造課である材料部品課担当者が報告書を作成し、材料部品課長の確認後、総務部へ提出、総務部担当者が総務・勤労担当グループ長の確認をもって、原子力規制庁様へ提出しておりました。

改善後は、先の材料部品課長の確認後、計量管理責任者である材料部品製造部長が承認のうえ、総務部に提出することとします。総務部は、総務部担当者が総務・勤労担当グ

ループ長が確認後、原子力規制庁様へ提出します。さらに、総務部長が報告書の提出完了を確認のうえ、計量管理責任者に提出完了の報告を行い、原子力規制庁様への提出が確実に実施された旨を作成元の製造部へ通知する運用を1月より開始しています。

また、新たに社長を委員長とした計量管理実行委員会を設置しました。本委員会において、社長をトップとした管理体制により、計量管理に関する届出・報告等の実施状況を確認することとし、2月度より本運用を開始しました。

② 計量管理に関するコンプライアンスの意識の徹底対策

社外の実務経験者による計量管理に関するコンプライアンス教育を1月25日に実施しました。今後も、定期的な教育の実施、並びに現在は中止されている核物質管理センター様主催の教育の受講、加えて原子力規制庁様による「保障措置実施に係る連絡会」の聴講により、計量管理に関わる者全員の意識改善を図ります。（3月9日開催の連絡会に、計量管理責任者1名が会場で、計量管理部門担当者3名・総務部門担当者4名がwebにて聴講済）

また、計量管理業務のスキルアップとし、教育・訓練マップを作成しました。このマップをもとにPDCAサイクルを回し、継続してスキルアップをしていきます。

③ 棚卸、受払の社内共有の仕組みづくり

計量管理報告の計画及び提出実績を記入する年間スケジュール（星取表）を整備し、月次で関連部門間で情報共有し、万一業務が滞っていた場合にフォローできる仕組みを構築しました。また、計量管理報告の提出実績は、毎月行う計量管理実行委員会においても報告・確認を実施・運用します。

④ チェックシートや要領書などの整備、担当窓口の見直し

計量管理規定に沿って、より実務に照らした計量管理業務マニュアルを整備し、担当者が適切かつ円滑に計量管理業務を実施できるようにしました。

また、核物質管理センター様との円滑なコミュニケーションを実現するため担当窓口の見直しを実施し、総務部担当者だけでなく、実務を行う材料部品製造部担当者も連絡員として加え、当面は、両連絡員が連携し、情報共有のうえ迅速に対応します。

将来的には、実務を行う材料部品製造部にて一元管理できるように進めていきます。

⑤ ソースデータ様式の見直し

ICR と容易に紐づけが出来るようにソースデータフォーマットの見直しを実施します。改善前書式は、原料粉末の溶解バッチ毎に複数のシートを作成しており、受入原料バッチの使用履歴が分かりにくい状態でした。このため、受入原料バッチ毎に1シートにまとめるように変更します。複数の原料粉末を混合して使用するケースに関しては、

別シート（混合シート）を参照する様式に変更します。これにより、ICR とソースデータが、容易に紐づけ出来るようになります。改善前書式では、処理内容、MD コード、アイテム数、方法は省略していましたが、ICR の記載に合わせて明示し、英語表記も併記します。

⑥ I D の容器表面貼付方法の改善

容器にカードケースを貼り、ソースデータに記載のあるバッチ名及びアイテム ID を記載した紙面を差し込むこととし、容器開閉時にも簡単に脱落しない仕様に変更しました。

⑦ 変更申請のサイト内建物報告書への反映

令和 3 年 12 月 22 日付け図書番号 2021-235(令和 4 年 2 月 10 日付け図書番号 2021-276 及び令和 4 年 3 月 16 日付け図書番号 2021-313 をもって一部補正) をもって変更許可申請により、変更（追加）した 81 号建屋（水素回収・循環装置の設置場所）をサイト内建物報告書へ反映し、令和 5 年 1 月 20 日付にて原子力規制庁様へ報告しました。

以 上

別紙 1

No.	実施項目	12			1			2			3			4		
		10	11	12	1	2	3	10	11	12	1	2	3	10	11	12
①	計量情報の社内手続きの改善	<p>運用開始</p> <p>1 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p> <p>2 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p>														
	計量情報のコンプライアンス意識改善対策	<p>1 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p> <p>2 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p> <p>3 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p>														
②	顧客センターの運営体制、人材育成の改善	<p>1 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p> <p>2 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p> <p>3 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p>														
	顧客、受託の社内共有の仕組みづくり	<p>1 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p> <p>2 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p> <p>3 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p>														
③	ウェブサイトや価格表整備、窓口対応し	<p>1 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p> <p>2 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p> <p>3 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p>														
	ソースデータの確実の取扱い	<p>1 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p> <p>2 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p> <p>3 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p>														
④	ID表示の改善	<p>1 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p> <p>2 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p> <p>3 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p>														
	産業関係のサイト内情報掲載内容へ反映	<p>1 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p> <p>2 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p> <p>3 1/24/24 運用開始(2/24/24)</p>														

■ 計画 ■ 実行 ■ 完了